

## 令和8年度の具体的事項

### 小・中学校

#### 1 他を思い 自らを磨き 共に伸びる学校づくり

- 児童・生徒の自己肯定感を育み、相手の意見や互いの多様性を認め合う学級風土づくりを通して、いじめ・不登校・問題行動等の未然防止に努める。
- 人権・同和教育の充実を図り、一人一人を尊重する学校・学級づくりを進める。
- 特別支援教育において、児童・生徒の能力や可能性を伸ばし、自立や社会参加を目指した教育の充実に努める。
- 発達や学びの連続性を踏まえ、就学前教育施設・小・中学校が連携協力し、教育目標や目指す子ども像を共有して、系統性・継続性のある教育を推進する。
- 地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクールの取組をすすめ、家庭・地域との連携・協働を一層充実する。
- 教職員は、社会環境の変化に目を向け、使命と責任を自覚し、豊かな人間性の醸成と実践的な指導力の向上に努める。
- 教職員が児童・生徒を受容し理解するため、一人一人と関わる時間の確保に努める。

#### 2 確かな学力

- 各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善を図る。
- 学習の基盤としての学習規律・学習習慣を確立し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。
- 授業で児童・生徒が考える場面を設定し、考えを伝えたり、聞いたりするなど言語活動の充実を図り、学ぶ意欲や学びに向かう力の育成に努める。
- ICT を積極的に活用することで、情報活用能力の育成や、個別最適な学びと協働的な学びの推進を図る。
- 外国語による言語活動を推進し、コミュニケーションへの積極的な態度を養い、外国語能力の向上を図る。

#### 3 豊かな心

- 道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成するため、教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。
- ボランティア活動や職業体験学習、平和学習などを推進し、社会性や豊かな人間性を育む。
- 地域と目標を共有した学校運営や教育活動を行い、地域の一員としての意識を醸成し、主体的に地域と関わろうとする児童・生徒の育成を図る。
- 丸亀の人・もの・ことにふれ、本物に出合う活動を通して、ふるさとに対する愛着と誇りを育む。

#### 4 健やかな体

- 生涯にわたって健やかな心身を育むため、家庭、地域、関係機関との連携を推進する。
- 自分の体や健康への関心と運動への意欲を高め、体力づくりを推進する。
- 自らの健康課題を意識し、主体的に行動ができる実践力を育成する。
- 食に対する関心を高め、正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。